

2024年9月6日

当連合会の意見広告「Sorry Xmas!」が新聞広告賞を受賞しました

このたび、当連合会が2023年12月26日に朝日新聞に掲載した『物流の2024年問題意見広告「Sorry Xmas!」』が、(一社)日本新聞協会が主催する「第44回新聞広告賞」において、「新聞広告賞(広告主部門)」を受賞しました。

「新聞広告賞」は、(一社)日本新聞協会が、新聞広告の新しい可能性を開拓した広告活動を顕彰し、新聞と広告の発展に資することを目的として1981年から実施している表彰制度であり、「広告主部門」と「新聞社企画・マーケティング部門」の2部門からなり、優れた広告活動を展開した広告主、新聞社に贈るものです。

今回第44回となる新聞広告賞は、「広告主部門」に225件の応募があり、この中より新聞広告大賞1件、新聞広告賞5件、優秀賞10件が決定され、当連合会の広告が新聞広告賞に選定されました。

選定された理由は、12月26日付紙面に、クリスマスまでにプレゼントを届けられなかったサンタクロースが「Sorry Xmas!」と書き換えて謝るクリエイティブで、日付を指定して掲載できる新聞という媒体の特性を生かし、輸送能力の低下により国民生活や経済活動に大きな影響が発生することが懸念される深刻な社会問題を、分かりやすく消費者に問いかけた広告活動であるということが高く評価されたものであります。

なお贈賞式は、2024年10月21日(月)に帝国ホテル東京で開催される、第67回「新聞広告の日」記念式典の席上で行われる予定です。

当連合会では引き続き、荷主はもとより一般消費者に向けても、しっかりと物流の実情を伝え、物流について考えていただくための取組みを継続してまいります。

※ 一般社団法人日本新聞協会主催 第44回新聞広告賞

<https://www.pressnet.or.jp/adarc/pri/2024.html>

※ 「物流の2024年問題」に関するアンケート調査結果について

<https://www.butsuryu.or.jp/asset/55514/view>

(参考) 朝日新聞 (2023年12月26日) 掲載広告



So Merry Xmas!

ごめんなさい、
25日に
間にあいませんでした。

2024年以降、このようなことが現実になるかもしれません。
希望する日時に、希望するモノが届くことが「当たり前」の社会。
それを可能にしているのが物流の世界です。

しかし、「物流の2024年問題^{※1}」などにより、
物流の世界ではさまざまな問題が起こることが予想されています。
「クリスマスにプレゼントが間に合わないかもしれない」
そんな想像からで構いません。

暮らしに直結する物流の世界を少しでも知ってもらい、
考えてみてくれたらうれしいです。

※1: 物流業界を魅力あるものとするため、2024年4月からトラックドライバーの賃金引上げや上限
規制が適用されることになっています。このためドライバーの労働環境が悪くなることなどで業界能力が
不届し、「モノが運べなくなる」可能性が指摘されており、「物流の2024年問題」と言われています。

なぜクリスマスプレゼントが間に合わないの？

プレゼントを届ける人の数が足りないんだ…。

プレゼントをきちんと届けてもらうために
私たちができることはあるのかな？

早めにお願いくれとお願い。

クリスマス以外ではゆとりを持った日時を
指定したり、一回で受け取ってほしいな。

アンケートにお答え
いただいた方から抽選で
100名様にプレゼント！

さらに詳しく知りたい ▶ [物流の2024年問題](#)

一般社団法人 **日本物流団体連合会** www.butsuryu.or.jp
日本物流団体連合会は陸・海・空の物流企業と団体が広く加盟する団体です。